

兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会報告書（素案）からの変更点〔修正箇所対照表〕

| 委員意見 | 頁 | 【新】 報告書（案） | 【旧】 報告書（素案） |
|---|-----|---|--|
| <p>・両病院が統合するメリットに、小児科・産科が充実することで、地域の安心にもつながることをあげるべき。</p> | P3 | <p>1 阪神南及び阪神北医療圏域の現状と課題 (1) 両医療圏域の現状 イ 入院患者の移動の状況 <医療需要> ・・・県外へ移動した患者は隣接する大阪府で入院していると考えられる。 <u>また、西宮市国民健康保険の疾患別データ等によると、西宮市においては、急性期入院患者のうち周産期医療及び小児医療について市内の医療機関での受診割合が低く、圏域外への移動の割合が高くなっている。</u></p> | <p>1 阪神南及び阪神北医療圏域の現状と課題 (1) 両医療圏域の現状 イ 入院患者の移動の状況 <医療需要> ・・・県外へ移動した患者は隣接する大阪府で入院していると考えられる。</p> |
| | P10 | <p>1 阪神南及び阪神北医療圏域の現状と課題 (3) 両医療圏域の課題 ア 医療機関と医療機能 ・・・両医療圏域全体をカバーできるような医療提供体制、連携のあり方を考える必要がある。 <u>また、西宮市では周産期及び小児入院患者の圏域外への移動割合が高く、晩婚化の影響による高齢出産や各種合併症妊娠等のハイリスク出産が増加傾向にある中で、産科・小児科の医療提供体制のあり方を考える必要がある。</u></p> | <p>1 阪神南及び阪神北医療圏域の現状と課題 (3) 両医療圏域の課題 ア 医療機関と医療機能 ・・・両医療圏域全体をカバーできるような医療提供体制、連携のあり方を考える必要がある。</p> |

| 委員意見 | 頁 | 【新】 報告書（案） | 【旧】 報告書（素案） |
|--|------------|---|--|
| <p>・西宮市は、今後も県内の他地域からの人口流入が想定され、人口が集まりやすいという特性を持っており、そのような市における市立病院のあり方を考える必要がある。</p> | P5 | <p>(2) 両医療圏域の将来像 ア 将来人口推計 ・・・約 1.8 倍まで増加する見込みである。 <u>また、平成 26 年の転入・転出状況では、県全体で転出が超過している中、西宮市においては転入が超過しており、特に 0 歳から 39 歳までの若年層の転入が多い。</u></p> <p>【図表追加】 年齢区分別転入超過（日本人）の状況（平成 26 年）</p> | <p>(2) 両医療圏域の将来像 ア 将来人口推計 ・・・約 1.8 倍まで増加する見込みである。</p> |
| | P10 P11 | <p>(3) 両医療圏域の課題 ウ 都市部における公立病院のあり方 ・・・病床規模などを考慮する必要がある。 <u>また、西宮市は将来的にも人口が集まりやすい条件や機能(地理、経済、文化)を持っており、兵庫県内の他地域からの短期・長期の人口流入が引き続き想定されるところである。そのような市の特性からして、市立中央病院のあり方は、市民に対する医療提供に加え、西宮市の機能を利用する他地域の県民の期待に応えることも考慮する必要がある。</u></p> | <p>(3) 両医療圏域の課題 ウ 都市部における公立病院のあり方 ・・・病床規模などを考慮する必要がある。</p> |

| 委員意見 | 頁 | 【新】 報告書（案） | 【旧】 報告書（素案） |
|--|-----------------------------|---|--|
| <p>・今後の両病院のあり方を議論する上で地域医療構想を踏まえる必要がある。</p> <p>・阪神南・北を一緒にすることが決定したような誤解を招く。</p> | P10 | <p>1 阪神南及び阪神北医療圏域の現状と課題</p> <p>(3) 両医療圏域の課題</p> <p>ア 医療機関と医療機能</p> <p>大学病院、県立病院等の高度専門、高度急性期の病院が阪神南医療圏域に集中しており、<u>兵庫県保健医療計画</u>においても3次救急は南北を一体とした医療圏域が設定されているため、<u>兵庫県地域医療構想</u>を踏まえ両医療圏域全体をカバーできるような医療提供体制、連携のあり方を考える必要がある。</p> | <p>1 阪神南及び阪神北医療圏域の現状と課題</p> <p>(3) 両医療圏域の課題</p> <p>ア 医療機関と医療機能</p> <p>大学病院、県立病院等の高度専門、高度急性期の病院が阪神南医療圏域に集中しており、3次救急も南北で一体とした医療圏域を設定されているため、両医療圏域全体をカバーできるような医療提供体制、連携のあり方を考える必要がある。</p> |
| <p>・両病院の設置目的や歴史的背景を記載すべき。</p> <p>・県立病院と市立病院の使命やイメージを強く出すべき</p> | <p>P11</p> <hr/> <p>P17</p> | <p>2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題</p> <p>(1) <u>両病院の歴史と役割</u></p> <p>(項目追加)</p> <hr/> <p>2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題</p> <p>(3) 両病院の課題</p> <p>ア <u>歴史・役割</u></p> <p>(項目追加)</p> | <p>2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題</p> <p>(1) 両病院の現状</p> <hr/> <p>2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題</p> <p>(2) 両病院の課題</p> <p>ア 施設・設備</p> |

| 委員意見 | 頁 | 【新】 報告書（案） | 【旧】 報告書（素案） |
|----------------------------|-----|--|--|
| ・津波よりも武庫川の破堤による浸水の方が影響がある。 | P12 | 2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題 (2) 両病院の現状 イ 防災機能 …… <u>豪雨時等において浸水の可能性がある</u> …… | 2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題 (1) 両病院の現状 イ 防災機能 ……津波による浸水の可能性がある…… |
| | P17 | 2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題 (3) 両病院の課題 ウ 防災機能 …… <u>豪雨時等において浸水の可能性があり、</u> | 2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題 (2) 両病院の課題 イ 防災機能 ……津波による浸水の可能性があり、 |
| ・文言がわかりにくい。 | P14 | 2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題 (2) 両病院の現状 エ 医療提供体制 (イ) 救急患者、手術への対応 市立中央病院では、 <u>市医師会との協議の下で毎週金曜日としていた2次救急輪番日（成人）の担当を平成26年度に見直し、月のうち第1週と最終週を除く金曜日としたことが影響し、救急患者数が減少した。</u> | 2 兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の現状と課題 (1) 両病院の現状 エ 医療提供体制 (イ) 救急患者、手術への対応 西宮市立中央病院では、2次救急輪番日の見直しを行った(平成26年度)ことも影響し、救急患者数が減少した。 |